



カイツブリの親子 (カイツブリ科)

カイツブリが子育て中で、親の背中に乗っている。雛2羽が



ノイバラ (バラ科)  
つる性の木本で「野バラ」とも呼ばれる。園芸品種のバラの接ぎ木の台木に使われる。



ヤマボウシ (ミズキ科)  
落葉高木で、花は6月~7月頃に咲く。中心部の丸い部分に20~30個の花が密集する。周囲の花弁状のものは、総苞片(そうほうへん)。



カナメモチ (バラ科)  
常緑の小高木で、5月~6月頃に小さな白い花を多くつける。実は球状で12月頃に赤く熟す。



カラタネオガタマ (モクレン科)  
常緑の小高木で中国原産。5月~6月に咲く花は、バナナに似た強い香りがする。



モリアオガエルの卵塊 (アオガエル科)  
樹上に卵を生みます。



イタチハギ (マメ科)  
北米原産の落葉低木。各地に野生化している。4月~7月頃に黒紫色の穂状の花をつける。



カシノナガキクイムシ被害木の処理  
色々なカシナガ被害木対策の処理を行っている。

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

過去の「みどころ」はHPの2ページ以降にあります

ノイバラが咲いています

イタチハギが咲いています

カシノナガキクイムシ  
被害木の処理現場

カナメモチが咲いています

スタジイが咲いています

ヤマボウシが咲いています

ユリノキが咲いています

スモークツリーの花が  
咲いています

5月~6月に紫色の花を付ける。花の形が打ち寄せる波に似ていることからこう名付けられた。

タツナミソウ (シソ科)



スイカズラ (スイカズラ科)  
つる性の低木で、5月~6月に白い花を咲かせる。花は白いが、しだいに黄色く変化する。



テイカカズラ (キョウチクトウ科)  
花はキョウチクトウ科の花の特徴のとおり、渦巻き状に捻れている。



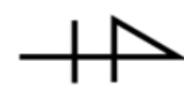
スモークツリー (ウルシ科)  
開花後、煙が出ているように見えることから名前が付いた。



シャリンバイ (バラ科)  
和名は花が梅に似て、枝や葉が輪生状に出ることからつけられた。

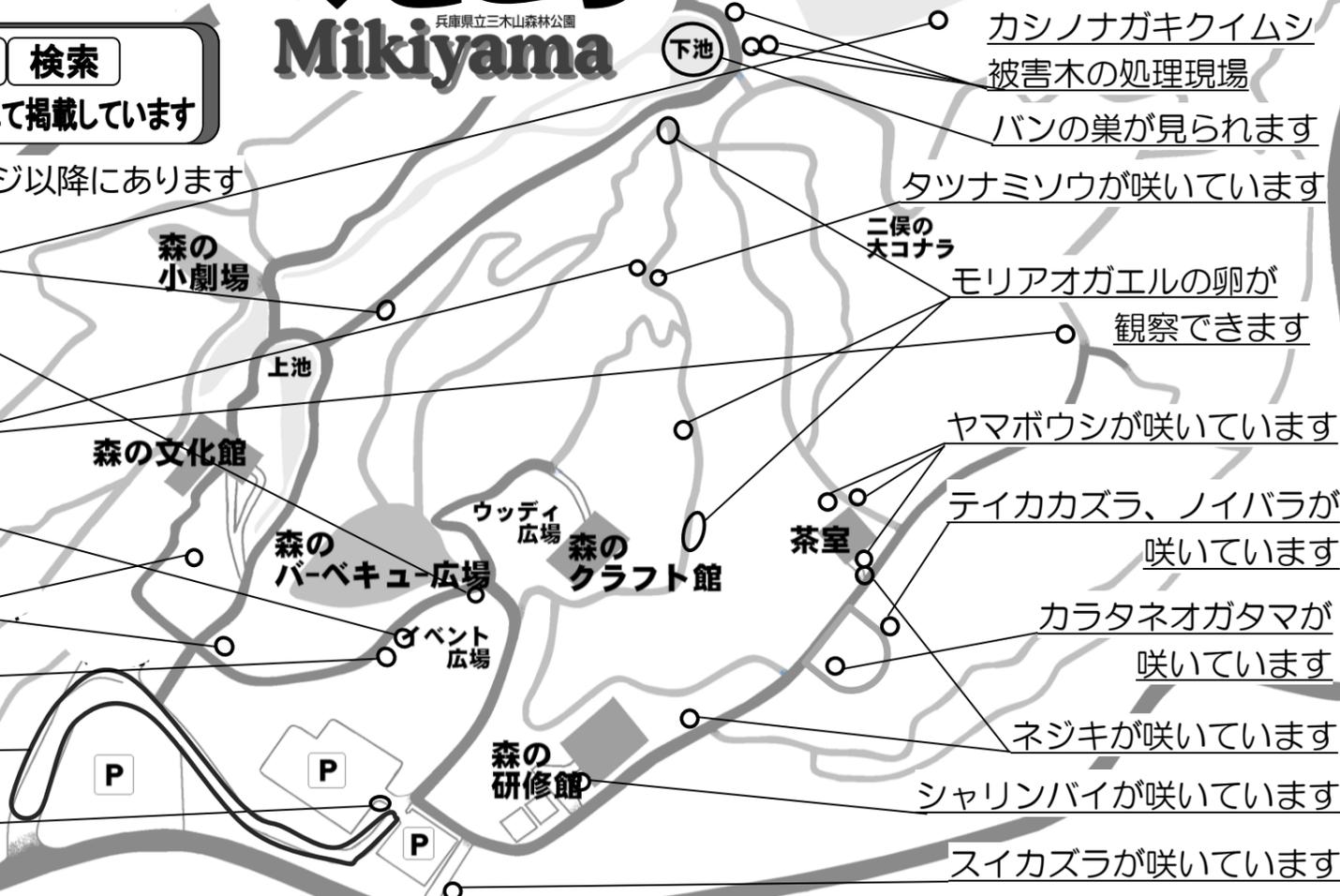


ネジキ (ツツジ科)  
幹がねじれる特徴があり、名前はそこから付いた。5月~6月頃に下向きの白い花を多数付ける。



# みどころ Mikiyama

兵庫県立三木山森林公園



令和2年6月上旬期



ユリノキ (モクレン科)  
落葉高木。花が高木の高い位置に咲くので、地上からは確認しにくい。



スタジイ (ブナ科)  
常緑の高木で、雄花は強い香りがする。ドングリは殻に包まれるが、成熟すると殻の中から現れる。